

社会システム研究科 地域コミュニティ専攻(博士前期課程) 到達目標

◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

科目区分	授業科目	学位授与方針との関連性			到達目標		
		DP1 高度な専門的 知識・技能	DP2 高い問題解決 能力と表現力	DP3 高い倫理観に 基づいた自律 的行動力	DP1 高度な専門的知識・技能	DP2 高い問題解決能力と表現力	DP3 高い倫理観に基づいた自律的行動力
専門共通科目	社会システム総合概論	○	◎	◎	社会システムにおける基礎的で共通の知識と各専攻での専門的知識を理解している。	各専攻での専門的な課題に対して、適切な分析と表現によって解決することができる。	高い倫理観に基づき社会の様々な課題に主体的かつ自律的に取り組む行動力を持っている。
留学生特別科目	日本語特別研究	○	◎	○	論証すべき課題を適切に設定し、主張を支える根拠を示すことができる。	論証すべき課題と根拠を用いて、論理的な展開で全体を構成することができる。レポートに相応しい体裁を整えることができる(表記、文体、文法を含む)。	研究倫理を理解し、研究者として自律的に学習することができる。
専門基礎科目	社会心理学	◎	○	○	社会心理学の研究法の主な特徴と社会心理学の複数の研究群の内容を理解している。	社会心理学の研究と自分自身の研究テーマとの関連を理解し、説明できる。	受け身ではなく主体的に学び、議論に参加する。
	生涯学習論	◎	○	○	実践を社会教育研究など分析枠組みを用いて捉えることができる。	実践事例を自分自身の研究テーマに応用することができる。	研究調査や先行研究を研究倫理に基づいて取り扱い、研究としてまとめることができる。
	臨床心理学	◎	○	○	文献中の心理学的専門用語の意味を理解し活用することができる。	自分自身の研究テーマと関連付けて解釈し自分の見解を述べることができる。	関連資料を自ら調べて指定文献と関連付けて発表することができる。
	教育心理学	◎	○	○	・主要な学習理論等の基礎的知見を自身の言葉で説明することができる。 ・様々な教授法のメリットとデメリットを説明できる。	・学習理論の基礎と様々な教授法のメリット・デメリットを理解した上で実践を行うことができる。	・基礎的知見や文献を自分なりの手法でまとめることができる。
	社会福祉援助論	◎	○	○	社会福祉援助の理解に必要な専門的知識を備えている。	人間の生活困難に関する問題を調査・分析によって解決することができる。	生活困難な状態にある人の人間関係に係わる諸課題について実践的な対応策を自律的に提示することができる。
	都市マネジメント学	◎	○	○	都市のマネジメントに関する専門的知識を理解することができる。	都市のマネジメントに関する専門的な課題と解決策を理解し説明することができる。	都市のマネジメントに関する必要な文献や資料を自ら探し、考察することができる。
	人間環境学	◎	○	○	環境と文明の関わりについて専門的に考えることができる。	自分自身の研究テーマとの比較の視点からとらえることができる。	環境と文明の関わりに関する諸問題を自ら進んで調べ考察することができる。
	文化社会学	◎	○	○	社会理論の基礎を知る。	社会学的思考を自身の研究に活用できる。	必要な文献や資料の調査方法を構想できる。
	都市社会学	◎	○	○	都市社会学に関する概念や理論枠組について理解することができる。	都市の社会問題について自分自身の研究テーマとの比較の視点から捉えることができる。	受け身の学習ではなく進んで調べたりレポートを作成できる。先行研究を第三者の視点でまとめることができる。
	他科目群	—					
専門科目	認知心理学	◎	○	○	人間の情報処理過程についての専門的な知識を総合的に身につけている。	文献を批判的に読んで課題を発見し、専門的見地から自分の意見を論理的に表現することができる。	研究倫理を理解し、認知心理学に関連する課題について主体的に探究することができる。
	教育制度論	◎	○	○	教育の制度を研究する上で必要な専門的知識を習得する。	教育の制度に係わる諸課題を見定め、調査・分析によって解決することができる。	教育の制度に係わる諸課題を見定め、整理し、実践的な対応策を自律的に提示することができる。
	臨床教育学	◎	○	○	子ども・青年の中に生じてくる様々な臨床的な問題の発生機序とその克服に向けての指導の課題について、基本的専門的知識を習得している。	教育の制度に係わる諸課題を見定め、整理し、実践的な対応策を提示することによって解決することができる。	子ども・青年に対して高い倫理観と人権尊重の理念に根ざした尊敬の態度で関わっていく自立の行動力を持っている。
	福祉コミュニティ論	◎	○	○	福祉コミュニティの理解に必要な専門的知識を習得している。	福祉コミュニティにおける人間関係に係わる諸課題を調査・分析によって解決することができる。	福祉コミュニティにおける人間関係に係わる諸課題について実践的な対応策を自律的に提示することができる。
	司法福祉論	◎	○	○	福祉的にかかわりの必要な触法者に対する関わりや制度について理解している。	触法者にかかわる地域課題について、複数の視点から検討し整理することができる。	犯罪者のない社会に向けて必要な要素を提示することができる。
	フィールドワーク論	◎	○	○	フィールドワークに必要な専門的知識を持っている。	参与観察とインタビューを通してフィールドワークに基づく長期の質的調査によって課題を解決することができる。	フィールドワークでえられた知見を分析し、個別具体的な事例から人間性の諸問題に関する普遍的な議論へと主体的に展開することができる。
	臨床社会学	◎	○	○	社会病理学や逸脱の社会学の論文等を読むことができる。	自分の研究関心とかかわらせながら議論することができる。	受け身の学習ではなく進んで臨床社会学の研究を調べることができる。
環境社会学	◎	○	○	自然と人間の関係について各自の研究領域の知識を広げることができる。	自然環境と人々を調査して実態や課題を明らかにすることができる。	自主的に研究テーマを設定し、客観的で有意義な考察を導くことができる。	
他科目群	—						

科目区分	授業科目	学位授与方針との関連性			到達目標		
		DP1 高度な専門的 知識・技能	DP2 高い問題解決 能力と表現力	DP3 高い倫理観に 基づいた自律 的行動力	DP1 高度な専門的知識・技能	DP2 高い問題解決能力と表現力	DP3 高い倫理観に基づいた自律的行動力
特別研究科目	特別研究基礎	◎	○	◎	人間の基本的特性の理解に必要な基礎的知識を修得している。	人間関係に係わる諸課題について問題を解決するための調査をすることができる。	人間関係に係わる諸問題を主体的かつ自律的に見定めることができる。
	特別研究1	◎	○	◎	人間の基本的特性の理解に必要な専門的知識を修得している。	人間関係に係わる諸課題について問題を解決するための調査をすることができる。	人間関係に係わる諸問題を主体的かつ自律的に見定めることができる。
	特別研究2	○	◎	◎	人間の基本的特性の理解に必要な専門的知識を修得している。	人間関係の諸課題について調査・分析することによって問題を解決することができる。	人間関係に係わる諸問題を主体的かつ自律的に見定め整理することができる。
	特別研究3	○	◎	◎	人間の基本的特性の理解に必要な専門的知識を修得している。	人間関係の諸課題について調査・分析することによって問題を解決することができる。	人間関係に係わる諸課題について実践的かつ主体的な対応策を提示できる。